

【 下田中学校 学校だより 】



桜木の下で

<https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/sitadachu/index>

令和6年度 第12号

三条市立下田中学校

(三条市笹岡210番地)

TEL 46-2020 FAX 46-2036

令和7年3月18日(火)

幸せな「今」を一生懸命に生きよう！！

We should be grateful for the happy Now and live seriously !

東日本大震災から14年、今現在の幸せに感謝して、精一杯、生きよう♡



国定前市長自ら、相馬市からの被災者を出迎えた！

3月11日(火)東日本大震災の発生時刻に合わせて、全校生徒で黙とうを捧げました。当時の私は市役所職員でした。震災からわずか5日後、日本で最初の被災者の受け入れをしたのが、三条市でした。南相馬市から815名の避難者が、総合福祉センターの体育館で寝泊まりすることになりました。

日本全国から24時間、家族の安否確認の電話が鳴りやまず、不安な毎日

を過ごしました。下田の「いい湯ら亭」さんが、お風呂を無料開放して下さり、避難者の皆さんから、大変に喜ばれたことをよく覚えています。

目の前で「困っている人を助ける」この経験は、その後の教員人生に重要なヒントを与えてくれました。今までも、これからも「困っている生徒」を救い続けます！

修学旅行スローガン「なんぼ青春してもええや

ん」～金閣寺よりも輝く修学旅行を～の下、出発

当日の朝は集合時刻10分以上も早く全員が元

気に登校し、実行委員長の大竹美聡さんの元気な

掛け声と共に、爽やかな3日間のスタートを切る

ことができました。大成功間違いなしを予感させ

る出発式となりました。

早朝から元気に出発式！



【 国際理解教育 】

「ガーナ共和国」について学ぶ



づいた国際社会における責務について学ぶことができました。ガーナの食文化や、ガーナと日本の図

3月7日(金)1・2年生の英語授業で、南魚沼市から、青年海外協力隊に参加した、元小学校教員の貝瀬結花さんをお招きして、実体験に基



工の授業の違い、現地の言葉でのありがとう「アクペ カカカカ」など、日本とは違う文化に触れることができました。『それぞれの文化の習慣や「当たり前」が違う中、相手の考えを受け止め、自分の考えをきちんと伝え、よりよい解決策を見つけることが大切』という言葉が、特に印象深いものでした。

【 適正な部活設置数について 】 ～ 部活の地域移行を見据えて ～

下記の資料にある通り、下田中の部活設置数は、生徒数・職員数の割合から算出するとかなり多いことがわかります。理想は「部活数×教員2名(顧問/副顧問)＝全教員数」と言われていて、二中や四中が、その適正数になっています。次年度、新入部員がゼロ、もしくは、全学年での部員数が1チームの人数に満たない場合は翌年、募集停止となります。

〔 下記資料参照 〕

下田中 部数 12 部 14 教諭 生徒数 195 名	第一中 部数 15 部 26 教諭 生徒数 415 名
第二中 部数 12 部 24 教諭 生徒数 292 名	第三中 部数 11 部 19 教諭 生徒数 257 名
第四中 部数 8 部 16 教諭 生徒数 200 名	本成寺 部数 10 部 18 教諭 生徒数 231 名
栄 中 部数 12 部 19 教諭 生徒数 285 名	大島中 部数 5 部 8 教諭 生徒数 65 名
	大崎学園 部数 10 部 19 教諭 生徒数 265 名

○教職員の感染拡大で、大変なご心配とご迷惑をおかけしました。体調の維持管理に努めます！
○保護者の皆様、お時間があれば「夢」進路相談室（校長室）に、どうぞお立ち寄りください。